

南小たば風通信 2019

令和元年7月25日 第10号

8月22日の板書交流会に向けて

公開研究会が近づいてきました。教材が決まり、夏休み中の準備も大変だと思いますがよろしくお願ひします。

公開研究会での教材 2年生 「わにのおじいさんのたからもの」
4年生 「一つの花」

8月22日の流れ 14:30～ 2年生 板書交流
 15:15～ 三浦主査からの助言
 15:35～ 4年生 板書交流
 16:20～ 三浦主査からの助言
 16:00 終了

○授業づくりのポイントとして

1. 単元計画や本時が仮説を検証できるものとなるかを意識する。
→仮説が検証できる内容の指導案にしましょう。
2. ブロックごとの公開だが、単独の公開ではなく、学校力としての組織的な公開であることを意識する。
→「読むこと」の学年間やブロック間での系統性を確認しましょう。
→指導事項を確認し、指導すべき内容を確認しましょう。
→学年や児童の実態に合わせた言語活動を設定しましょう。
→他者とのかかわり（対話的な活動）を取り入れるので、その学年の身につけなければならない「話す・聞く」の指導事項を参考に授業を組み立てましょう。
→板書にも共通のルールを！（◎や⊕、枠を囲むときのチョークの色、単元の流れがわかる掲示物など）
→子どもスタンダード7の再確認を！
3. 自分で解決する力を身につけさせるよう意識する。
（7月9日の研究日の校長先生のお話から）
→授業の中で子どもたちの思考に沿うスタイルを取り入れましょう。
（1単位時間がずっと教師主導ではないスタイルで）

裏面に今後の日程があります。

○今後の予定

夏休み中 各ブロックでの指導案検討等の準備・話し合いをお願いします。

8月20日（火） 指導案（板書交流会段階でのもの）の提出

22日（木） 板書交流会（三浦主査 来校）

28日（水） 指導案完成（板書交流会を受けて修正した完成版）
教育局へ提出

9月 4日（水） 指導案等の印刷・丁合・袋詰め等の完了

5日（木） 公開研究会前日準備

6日（金） 公開研究会（講演あり）

参考までに・・・

「主体的・対話的で深い学びを実現するのイメージ例」を別紙でお渡しします。

ピクトグラムを活用する際のイメージの一つとして活用してください。